

授業科目等の概要

(農業専門課程 園芸1類学科 花き生産コース) 令和2年度 2年次生用																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験のある教員
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○				園芸文化論	西欧と日本の園芸を媒体とした歴史、生活文化について学習する。	1前	30	1	○		○		○			○
○				花と緑の商品知識	鉢花、切花、樹木といった園芸や造園に利用する素材について、名称・管理方法などについて学習する。	1通 2前	60 30	2 1	○ ○		○ ○		○ ○			○ ○
○				分類・形態学Ⅰ	園芸植物の分類や形態について基本的に学習する。	1前	15	0.5	○		○		○			○
○				分類・形態学Ⅱ	園芸植物の分類や形態について応用的に学習する。	1前	15	0.5	○		○		○			○
○				土壌肥料学	土壌や肥料の基礎や土壌改良法、施肥法などについて学習する。	1前	15	0.5	○		△	○		○		○
○				病理害虫学	植物に関わる病気、害虫、その対処法などについて学習する。	1前	15	0.5	○		○			○		○
○				植物生理学	植物ホルモンや光形態形成などを学習する。	1前	30	1	○		△	○			○	
○				園芸実習	花壇作成や植物の管理方法など農場での実習を行う。	1通 2前	120 30	4 1	△ △		○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○				育種・繁殖	植物の育種や繁殖・管理方法、バイオテクノロジーの基礎について学習する。	1前	30	1	△		○	○		○	○	○
○				グリーンコーディネート	観葉植物の扱いやそれらを用いた装飾法について学習する。	1前	30	1	△		○	○		○	○	○
○				ビジネスマナー	社会人として必要なビジネスマナーや履歴書の書き方、社会人基礎力等を習得する。	1通	60	2	○	△		○		○		
○				園芸流通	園芸業界の現状を実際の例に触れながら学習する。	1前	30	1	○		○			○	○	
○				デザイン	デザインの構成について学習し、図面上での造形について理解させる。	1前	30	1	○	△		○			○	○
○				フラワーデザイン基礎	フラワーデザインの基礎を学習する。	1前	30	1	△		○	○			○	○
○				カラーコーディネート	色彩に関する基本的な知識や配色技法を学習する。	1前	15	0.5	○	△		○			○	○
○				造園基礎	造園史、日本庭園、西洋庭園の様式や特徴、造園材料や観察を通じて樹木の知識などを習得する。	1前	30	1	△		○	○			○	○
○				花き園芸基礎	寄せ植え、花壇作成、基本的な農業機械の扱いなど様々な園芸作業を学習する。	1前	60	2	△		○	○			○	○
○				花き生産技術Ⅰ	一、二年性植物の栽培方法や管理技術を学習する。	1後 2通	60 60	2 2	△ △		○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○				花き生産技術Ⅱ	多年性植物の栽培方法や管理技術を学習する。	1後 2通	60 60	2 2	△ △		○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○				花き生産技術Ⅲ	観葉植物、多肉植物等の栽培・管理方法を学習する。	1後 2通	45 45	1.5 1.5	△ △		○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○				商品制作	植物を使用した商品の制作について学習する。	1後 2通	30 30	1 1	○ ○		△ △	○ ○		○ ○		○ ○
○				生産流通	生産物の出荷、流通の仕組みを学習する。	1後 2通	15 30	0.5 1	△ △		○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○				施設管理	温室などの農場の施設設備の管理技術を学習する。	1後 2通	15 60	0.5 2	△ △		○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○				花きの利用	切り花を用いた作品の制作技術を学習する。	2後	30	1	△		○	○			○	○
○				販売技術	POP広告や陳列などの販売促進について学習する。	1後 2通	15 30	0.5 1	△ △		○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○				花き育種・繁殖	花きについての品種動向や育種、繁殖技術について学習する。	1後 2通	15 60	0.5 2	○ ○		△ △	○ ○		○ ○		○ ○
○				生育開花調節概論	花き生産における開花調整の手法を学習する。	2通	15	0.5	○		△	○		○	○	○
○				花き生育技術概論	花き生産における生育調整の手法を学習する。	2通	30	1	○		△	○		○	○	○
○				農業機械	トラクターや動力噴霧器などの農業機械の扱いについて学習する。	1後 2通	15 30	0.5 1	△ △		○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○				ビジネスマネジメント	農業の運営にかかわるマネジメントの手法について学習する。	2通	30	1	○		○			○	○	○
○				園芸療法・福祉概論	園芸療法・福祉に関する基本的な知識を学習する。	2通	15	0.5	○		○			○		○
○				農業簿記	農業簿記の基本的な知識を学習する。	1後 2後	15 15	0.5 0.5	○ ○		○ ○			○ ○		○ ○
○				花き輸出入概論	花きの輸出入に関する基本的な知識を学習する。	2通	30	1	○		○					○
○				校外見学	花きに関する施設を見学する。	1後 2通	15 30	0.5 1			○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○				インターンシップ	園芸業界での現場体験を行う。	1後 2通	60 60	2 2			○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○				卒業研究	各自がテーマを設定し、一定期間計画的に調査・研究し、自己の専門性を高めるとともに、物事を客観的・論理的に展開する力を習得させる。また、調査・研究の過程において文献・資料の収集力・分析力を養う。	2通	240	8	△	○	△	○		○		○
○				校外研修	海外研修や校外での研修を行う。	2通	60	2			○	○		○	○	○
○				管理実習	夏季休業中などに校内の植物の管理作業を行う。	1通 2通	60 60	2 2			○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○				校内行事	文化祭などの校内行事への取り組みを通じて、計画から完成までの一連の流れを習得する。	1通 2通	120 120	4 4			○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
	○			選択	希望に応じて生け花、盆栽、野菜などから選択する。	1後 2後	30 30	1 1	△ △		○ ○	○ ○		○ ○		△ △
	○			資格取得	園芸装飾技能士、造園技能士、フラワー装飾技能士、商品装飾展示技能士など、希望する資格に応じ選択し、資格試験を受験する上で必要な知識、技術を習得する。	1通 2通	120 120	4 4	△ △	△	○ ○	○ ○		○ ○		○ △
合計							2655	88.5								
内、実務経験のある教員による授業科目の時間数、単位数(但し、授業科目名『選択』『資格取得』を除く)							1845	61.5								

卒業要件及び履修方法	授業期間等
各学期毎に履修した科目について定期試験を実施する。定期試験において合格すると単位認定される。必修科目は全て、選択必修科目は年次ごとに所定の単位時間以上認定され、1年次では1,305単位時間以上、2年次では1,350単位時間以上(2年間で2,655単位時間以上)認定されることが卒業要件となる。	1学年の学期区分 2期 1学期の授業期間 15週

授業科目等の概要

(農業専門課程 園芸1類学科 野菜生産コース) 令和2年度 2年次生用																	
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験のある教員
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○				園芸文化論	西欧と日本の園芸を媒体とした歴史、生活文化について学習する。	1前	30	1	○		○			○			○
○				野菜生産各論	各種野菜の分類、作型、栽培、管理方法について学習する。	1通 2前	60 30	2 1	○ ○	△ △	○ ○		○ ○				○ ○
○				分類・形態学	園芸植物の分類や形態について学習する。	1前	15	0.5	○		○			○			○
○				土壌肥科学	土壌や肥料の基礎や土壌改良法、施肥法などについて学習する。	1前	15	0.5	○	△	○			○			○
○				病理害虫学	植物に関わる病気、害虫、その対処法などについて学習する。	1前	15	0.5	○		○			○			○
○				植物生理学	植物ホルモンや光形態形成などを学習する。	1前	30	1	○	△	○			○			
○				園芸実習	花壇作成や植物の管理方法など農場での実習を行う。	1通 2前	120 30	4 1	△ △	○ ○	○ ○		○ ○	○ ○			○ ○
○				育種・繁殖	植物の育種や繁殖・管理方法、バイオテクノロジーの基礎について学習する。	1前	30	1	△	○	○			○	○		
○				グリーンコーディネート	観葉植物の扱いやそれらを用いた装飾法について学習する。	1前	30	1	△	○	○			△	○		○
○				ビジネスマナー	社会人として必要なビジネスマナーや履歴書の書き方、社会人基礎力等を習得する。	1通	60	2	○	△	○			○			
○				園芸流通	園芸業界の現状を実際の例に触れながら学習する。	1前	30	1	○		○			○	○		
○				デザイン	デザインの構成について学習し、図面上での造形について理解させる。	1前	30	1	○	△	○			○			
○				フラワーデザイン基礎	フラワーデザインの基礎を学習する。	1前	30	1	△	○	○			○			
○				カラーコーディネート	色彩に関する基本的な知識や配色技法を学習する。	1前	15	0.5	○	△	○			○			
○				造園基礎	造園史、日本庭園、西洋庭園の様式や特徴、造園材料や観察を通じて樹木の知識などを習得する。	1前	30	1	△	○	○			○			
○				野菜生産技術Ⅰ	主に露地栽培の野菜生産について学習する。	1後 2通	120 60	4 2	△ △	○ ○	○ ○		○ ○				○ ○
○				野菜生産技術Ⅱ	主に施設栽培の野菜生産について学習する。	1後 2通	60 150	2 5	△ △	○ ○	○ ○		○ ○				○ ○
○				野菜生産技術Ⅲ	植物工場などの次世代農業について学習する。	1後 2通	30 15	1 0.5	△ △	○ ○	○ ○		○ ○				○ ○
○				販売技術	野菜の販売を行う上での調整、販売方法を学習する。	1後 2前	15 60	0.5 2	△ △	○ ○	○ ○		○ ○				○ ○
○				野菜育種・繁殖	野菜についての品種動向や育種、繁殖技術について学習する。	1後 2通	15 45	0.5 1.5	△ △	○ ○	○ ○		○ ○				○ ○
○				野菜加工論	安全衛生を含めた野菜の加工方法について学習する。	1後 2後	30 15	1 0.5	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○				○ ○
○				野菜加工実習	漬物や干し野菜などの加工を行う。	1後 2後	15 30	0.5 1	△ △	○ ○	○ ○		○ ○				○ ○
○				調理実習	野菜の特性を生かした調理方法を学習する。	1後 2通	15 15	0.5 0.5	△ △	○ ○	○ ○		○ ○				○ ○
○				農業機械	トラクターや動力噴霧器などの農業機械の扱いについて学習する。	1後 2前	15 30	0.5 1	△ △	○ ○	○ ○		○ ○				○ ○
○				野菜栄養学	野菜の栄養価について学習する。	2後	15	0.5	○		○			○	○		
○				施設管理	温室などの農場の施設設備の管理技術を学習する。	2後	15	0.5	△	○	○			○			
○				野菜栽培指導法	園芸教室や家庭菜園、市民農園などでの指導法について学習する。	2通	30	1	○	△	○			○	○		
○				植物工場概論	植物工場の基本的な知識を学習する。	2後	15	0.5	○		○			○			
○				有機農法概論	有機農法の基本的な知識を学習する。	2前	30	1	○	△	○			○			
○				スマート農業	最新の機器を利用した野菜生産について学習する。	2通	30	1	○		○			○			
○				ビジネスマネジメント	農業の運営にかかわるマネジメントの手法について学習する。	1後 2後	30 45	1 1.5	○ ○		○ ○			○ ○	○ ○		○ ○
○				農業簿記	農業簿記の基本的な知識を学習する。	1後 2後	15 15	0.5 0.5	○ ○	△ △	○ ○			○ ○			○ ○
○				農業英語	農業に関わる専門的な英語を学習する。	2後	15	0.5	○	△	○			○			
○				インターンシップ	園芸業界での現場体験を行う。	1後 2通	60 60	2 2			○ ○		○ ○		○ ○		○ ○
○				卒業研究	各自がテーマを設定し、一定期間計画的に調査・研究し、自己の専門性を高めるとともに、物事を客観的・論理的に展開する力を習得させる。また、調査・研究の過程において文献・資料の収集力・分析力を養う。	2通	240	8	△	○	△			○			
○				校外研修	海外研修や校外での研修を行う。	2通	60	2			○		○		○		
○				管理実習	夏季休業中などに校内の植物の管理作業を行う。	1通 2通	60 60	2 2			○ ○		○ ○		○ ○		○ ○
○				校内行事	文化祭などの校内行事への取り組みを通じて、計画から完成までの一連の流れを習得する。	1通 2通	120 120	4 4			○ ○		○ ○		○ ○		○ ○
	○			選択	希望に応じて生け花、盆栽、野菜などから選択する。	1後 2後	30 30	1 1	△ △	○ ○	○ ○			○ ○	○ ○		△ △
	○			資格取得	園芸装飾技能士、造園技能士、フラワー装飾技能士、商品装飾展示技能士など、希望する資格に応じ選択し、資格試験を受験する上で必要な知識、技術を習得する。	1通 2通	120 120	4 4	△ △	△ △	○ ○			○ ○	○ ○		○ ○
合計							2670	89									
内、実務経験のある教員による授業科目の時間数、単位数(但し、授業科目名『選択』『資格取得』を除く)							1830	61									

卒業要件及び履修方法	授業期間等
各学期毎に履修した科目について定期試験を実施する。定期試験において合格すると単位認定される。必修科目は全て、選択必修科目は年次ごとに所定の単位時間以上認定され、1年次では1,290単位時間以上、2年次では1,380単位時間以上(2年間で2,670単位時間以上)認定されることが卒業要件となる。	1学年の学期区分 2期 1学期の授業期間 15週

授業科目等の概要

(農業専門課程 園芸1類学科 グリーンコーディネートコース) 令和2年度 2年次生用																	
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験のある教員	
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任			
○				園芸文化論	西欧と日本の園芸を媒体とした歴史、生活文化について学習する。	1前	30	1	○		○			○		○	
○				花と緑の商品知識	鉢花、切花、樹木といった園芸や造園に利用する素材について、名称・管理方法などについて学習する。	1通 2前	60 30	2 1	○ ○		○ ○			○ ○		○ ○	
○				分類・形態学	園芸植物の分類や形態について学習する。	1前	15	0.5	○		○			○		○	
○				土壌肥科学	土壌や肥料の基礎や土壌改良法、施肥法などについて学習する。	1前	15	0.5	○	△	○			○		○	
○				病理害虫学	植物に関わる病気、害虫、その対処法などについて学習する。	1前	15	0.5	○		○			○		○	
○				植物生理学	植物ホルモンや光形態形成などを学習する。	1前	30	1	○		△	○			○		○
○				園芸実習	花壇作成や植物の管理方法など農場での実習を行う。	1通 2前	120 30	4 1	△ △		○ ○	○ ○		○ ○		○ ○	
○				育種・繁殖	植物の育種や繁殖・管理方法、バイオテクノロジーの基礎について学習する。	1前	30	1	△		○	○		○		○	
○				グリーンコーディネート	観葉植物の扱いやそれらを用いた装飾法について学習する。	1前	30	1	△		○	○		△	○	○	
○				ビジネスマナー	社会人として必要なビジネスマナーや履歴書の書き方、社会人基礎力等を習得する。	1通	60	2	○	△		○		○		○	
○				園芸流通	園芸業界の現状を実際の例に触れながら学習する。	1前	30	1	○		○			○	○	○	
○				デザイン	デザインの構成について学習し、図面上での造形について理解させる。	1前	30	1	○	△		○			○	○	
○				フラワーデザイン基礎	フラワーデザインの基礎を学習する。	1前	30	1	△		○	○			○	○	
○				カラーコーディネート	色彩に関する基本的な知識や配色技法を学習する。	1前	15	0.5	○	△		○			○	○	
○				造園基礎	造園史、日本庭園、西洋庭園の様式や特徴、造園材料や観察を通じて樹木の知識などを習得する。	1前	30	1	△		○	○			○	○	
○				植物管理基礎	校内で管理している見本植物を用いて、分類や管理のポイントを学習する。	1前	45	1.5	△		○	○			○	○	
○				植物管理応用	校内で管理している見本植物を用いて、分類別に維持管理と繁殖等を行う。	2通	60	2	△		○	○			○	○	
○				施設管理実習	植物の適切な管理を行うための温室や圃場の環境整備を行う。	1後 2通	30 45	1 1.5	△ △		○ ○	○ ○		○ ○		○ ○	
○				グリーンサービス基礎	グリーンサービスに関わる観葉植物の扱いを学習する。	1前	30	1	△		○	○			○	○	
○				グリーンコーディネート論	グリーンコーディネートの歴史、現状や展望について学習する。	1後	15	0.5	○		○			○	○	○	
○				グリーンコーディネートⅡ	臨時インドアガーデン制作の一連の作業を学習する。	1後 2後	30 30	1 1	△ △		○ ○	○ ○		○ ○		○ ○	
○				グリーンコーディネートⅢ	ショッピングモール等の常設インドアガーデンを想定した装飾技法を学習する。	2通	60	2	△		○	○			○	○	
○				グリーンコーディネート実践	装飾作品の校内、商業施設での展示やコンテストへ出展するための一連の流れを学習する。	1後 2通	45 90	1.5 3	△ △		○ ○	○ ○		○ ○		○ ○	
○				環境調査	住空間に植物を配置するための環境調査について学習する。	2前	15	0.5	○	△		○			○	○	
○				特殊空間緑化	屋上緑化、屋内緑化、壁面緑化の基礎を学習する。	2通	30	1	○		△	○			○	○	
○				ガーデン設計	庭園の設計の基礎を学習する。	2前	30	1	△	○		○			○	○	
○				空間デザイン	住空間の特性を理解し、植物の装飾方法、メンテナンスの基礎を学習する。	2後	30	1	○		△	○			○	○	
○				グリーンデザイン	ガーデンの設計や施工、コンテナガーデンやハンギングバスケットの制作を学習する。	1後 2後	30 30	1 1	△ △		○ ○	○ ○			○ ○	○ ○	
○				グリーンビジネス	陳列等を含めた園芸店やガーデンセンターでの販売促進や仕入れから販売までの流れを学習する。	1後 2前	15 15	0.5 0.5	○ ○		○ ○			○ ○		○ ○	
○				グリーンインテリア	観葉植物を用いた商品制作やその配置について学習する。	1後 2後	30 30	1 1	○ ○		△ △	○ ○			○ ○	○ ○	
○				販売促進	陳列やPOPなどを中心に販売促進の基礎を学習する。	1後 2前	15 15	0.5 0.5	○ ○		△ △	○ ○			○ ○	○ ○	
○				植物販売管理	売り場ごとの植物管理のポイントを学習する。	1後 2前	30 30	1 1	△ ○		○ △	○ ○			○ ○	○ ○	
○				園芸指導技術	園芸講座の計画から運営までを実践的に学習する。	2前	30	1	○		△	○			○	○	
○				園芸療法・福祉	園芸療法・福祉に関する基本的な知識を学習する。	2前	30	1	○		△	○			○	○	
○				インターンシップ	園芸業界での現場体験を行う。	1後 2通	60 60	2 2			○ ○		○ ○		○ ○	○ ○	
○				卒業研究	各自がテーマを設定し、一定期間計画的に調査・研究し、自己の専門性を高めるとともに、物事を客観的・論理的に展開する力を習得させる。また、調査・研究の過程において文献・資料の収集力・分析力を養う。	2通	210	7	△	○	△	○			○	○	
○				校外研修	海外研修や校外での研修を行う。	2通	60	2			○		○		○	○	
○				管理実習	夏季休業中などに校内の植物の管理作業を行う。	1通 2通	60 60	2 2			○ ○	○ ○			○ ○	○ ○	
○				校内行事	文化祭などの校内行事への取り組みを通じて、計画から完成までの一連の流れを習得する。	1通 2通	120 120	4 4			○ ○	○ ○			○ ○	○ ○	
	○			選択	希望に応じて生け花、盆栽、野菜などから選択する。	1後 2後	30 30	1 1	△ △		○ ○	○ ○			○ ○	△ △	
	○			資格取得	園芸装飾技能士、造園技能士、フラワー装飾技能士、商品装飾展示技能士など、希望する資格に応じ選択し、資格試験を受験する上で必要な知識、技術を習得する。	1通 2通	120 120	4 4	△ △	△	○ ○	○ ○			○ ○	○ △	
合計							2535	84.5									
内、実務経験のある教員による授業科目の時間数、単位数(但し、授業科目名『選択』『資格取得』を除く)							1725	57.5									

卒業要件及び履修方法	授業期間等
各学期毎に履修した科目について定期試験を実施する。定期試験において合格すると単位認定される。必修科目は全て、選択必修科目は年次ごとに所定の単位時間以上認定され、1年次では1,245単位時間以上、2年次では1,290単位時間以上(2年間で2,535単位時間以上)認定されることが卒業要件となる。	1学年の学期区分 2期 1学期の授業期間 15週

授業科目等の概要

(農業専門課程 園芸1類学科 フラワーコーディネートコース) 令和2年度 2年生用															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験のある教員
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			園芸文化論	西欧と日本の園芸を媒体とした歴史、生活文化について学習する。	1前	30	1	○			○		○		○
○			花と緑の商品知識	鉢花、切花、樹木といった園芸や造園に利用する素材について、名称・管理方法などについて学習する。	1通 2前	60 30	2 1	○ ○			○ ○		○ ○		○ ○
○			分類・形態学	園芸植物の分類や形態について学習する。	1前	15	0.5	○			○		○		○
○			土壌肥科学	土壌や肥料の基礎や土壌改良法、施肥法などについて学習する。	1前	15	0.5	○	△		○		○		○
○			病理害虫学	植物に関わる病気、害虫、その対処法などについて学習する。	1前	15	0.5	○			○		○		○
○			植物生理学	植物ホルモンや光形態形成などを学習する。	1前	30	1	○	△		○		○		○
○			園芸実習	花壇作成や植物の管理方法など農場での実習を行う。	1通 2前	120 30	4 1	△ △		○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○			育種・繁殖	植物の育種や繁殖・管理方法、バイオテクノロジーの基礎について学習する。	1前	30	1	△		○	○		○		○
○			グリーンコーディネート	観葉植物の扱いやそれらを用いた装飾法について学習する。	1前	30	1	△		○	○		△	○	○
○			ビジネスマナー	社会人として必要なビジネスマナーや冠婚葬祭、履歴書の書き方、社会人基礎力等を習得する。	1通 2通	75 30	2.5 1	○ ○	△ △		○ ○		○ ○		○ ○
○			園芸流通	園芸業界の現状を実際の例に触れながら学習する。	1前	30	1	○			○		○		○
○			フラワーデザイン基礎Ⅰ	フラワーデザインの基礎を学習する。	1前	30	1	△		○	○		○		○
○			デザイン	デザインの構成について学習し、図面上での造形について理解させる。	1前	30	1	○	△		○		○		○
○			カラーコーディネート	色彩に関する基本的な知識や配色技法を学習し、応用としてアレンジメント等を作成する。	1前 2前	15 30	0.5 1	○ ○	△ △		○ ○		○ ○		○ ○
○			造園基礎	造園史、日本庭園、西洋庭園の様式や特徴、造園材料や観察を通じて樹木の知識などを習得する。	1前	30	1	△		○	○		○		○
○			フラワーデザイン基礎Ⅱ	スタンド花などの実際に商品として通用する作品の制作技術を習得する。	1通	60	2	△		○	○		○		○
○			フラワーデザイン応用	ヨーロッパスタイルなど基礎を基にした様々な作品制作技術を習得する。	2通	180	6	△		○	○		○		○
○			フラワーデザイン実践Ⅰ	いろいろなスタイルのアレンジメントや花束の制作技術を習得する。	1後	60	2	△		○	○		○		○
○			フラワーデザイン実践Ⅱ	イベントや学校外での装飾技術を計画から作成まで一連の流れを通して学習する。	2通	60	2	△		○	○		○		○
○			商品知識	切り花や鉢物の商品知識を学習する。	1後 2通	30 45	1 1.5	△ △		○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○			ショップビジネス	店舗運営に関する知識、技術(接客、陳列、経営など)を実習を交えながら習得する。	1後 2通	30 90	1 3	△ △		○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○			商品企画制作	母の日やクリスマスなどイベント時の商品制作について計画から学習する。	1後 2通	30 120	1 4	△ △	○	△	○		○		○
○			空間装飾	広い空間での植物を使用した装飾技術を習得する。	1後 2通	45 120	1.5 4	△ △		○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○			ブライダルフラワー	ブーケや卓上装花などのブライダル関連の商品制作やマナーについて学習する。	1後 2後	30 45	1 1.5	△ △		○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○			フェーナルフラワー	祭壇などの葬儀関連の商品制作やマナーについて学習する。	2通	30	1	△		○	○		○		○
○			課題学習	簿記の基本的な知識を学習する。	1後	15	0.5	○	△		○		○		○
○			校外見学	フラワーデザイン関連に関する施設を見学する。	1通 2通	15 30	0.5 1			○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○			インターンシップ	園芸業界での現場体験を行う。	1後 2通	60 60	2 2			○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○			校外研修	海外研修や校外での研修を行う。	2通	60	2			○	○		○		○
○			管理実習	夏季休業中などに校内の植物の管理作業を行う。	1通 2通	60 60	2 2			○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○			校内行事	文化祭などの校内行事への取り組みを通じて、計画から完成までの一連の流れを習得する。	1通 2通	120 120	4 4			○ ○	○ ○		○ ○		○ ○
○	○		選択	希望に応じて生け花、盆栽、野菜などから選択する。	1後 2後	30 30	1 1	△ △		○ ○	○ ○		○ ○		△ △
○	○		資格取得	園芸装飾技能士、造園技能士、フラワー装飾技能士、商品装飾展示技能士など、希望する資格に応じ選択し、資格試験を受験する上で必要な知識、技術を習得する。	1通 2通	120 120	4 4	△ △	△ △	○ ○	○ ○		○ ○		○ △
合計						2550	85								
内、実務経験のある教員による授業科目の時間数、単位数(但し、授業科目名『選択』『資格取得』を除く)						1725	57.5								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
各学期毎に履修した科目について定期試験を実施する。定期試験において合格すると単位認定される。必修科目は全て、選択必修科目は年次ごとに所定の単位時間以上認定され、1年次では1,260単位時間以上、2年次では1,290単位時間以上(2年間で2,550単位時間以上)認定されることが卒業要件となる。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

授業科目等の概要

(農業専門課程 園芸1類学科 造園コース) 令和2年度 2年次生用																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験のある教員
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			園芸文化論	西欧と日本の園芸を媒体とした歴史、生活文化について学習する。	1前	30	1	○			○			○		○
○			花と緑の商品知識	鉢花、切花、樹木といった園芸や造園に利用する素材について、名称・管理方法などについて学習する。	1通 2前	60 30	2 1	○ ○			○ ○			○ ○		○ ○
○			分類・形態学	園芸植物の分類や形態について学習する。	1前	15	0.5	○			○			○		○
○			土壌肥科学	土壌や肥料の基礎や土壌改良法、施肥法などについて学習する。	1前	15	0.5	○	△		○			○		○
○			病理害虫学	植物に関わる病気、害虫、その対処法などについて学習する。	1前	15	0.5	○			○			○		○
○			植物生理学	植物ホルモンや光形態形成などを学習する。	1前	30	1	○		△	○			○		○
○			園芸実習	花壇作成や植物の管理方法など農場での実習を行う。	1通 2前	120 30	4 1	△ △		○ ○	○ ○			○ ○		○ ○
○			育種・繁殖	植物の育種や繁殖・管理方法、バイオテクノロジーの基礎について学習する。	1前	30	1	△			○			○		○
○			グリーンコーディネート	観葉植物の扱いやそれらを用いた装飾法について学習する。	1前	30	1	△		○	○			△	○	○
○			ビジネスマナー	社会人として必要なビジネスマナーや履歴書の書き方、社会人基礎力等を習得する。	1通	60	2	○	△		○			○		○
○			園芸流通	園芸業界の現状を実際の例に触れながら学習する。	1前	30	1	○			○			○		○
○			デザイン	デザインの構成について学習し、図面上での造形について理解させる。	1前	30	1	○	△		○			○		○
○			フラワーデザイン基礎	フラワーデザインの基礎を学習する。	1前	30	1	△		○	○			○		○
○			カラーコーディネート	色彩に関する基本的な知識や配色技法を学習する。	1前	15	0.5	○	△		○			○		○
○			造園基礎技術	造園に関わる基本的な技術を学習する。	1前	30	1	△		○	○			○		○
○			造園概論	造園史、日本庭園、西洋庭園の様式や特徴、造園材料や観察を通じて樹木の知識などを習得する。	1前	30	1	○			○			○		○
○			造園計画	図面の描き方、記号の表記方法、道具の使用方法、図面の読み取り方法等について学習する。	1後	90	3	○	△	△	○	△		○		○
○			造園施工	造園施工の基礎から応用まで必要な知識、技術を学習する。	1後 2通	60 180	2 6	△ △		○ ○	○ ○			○ ○		○ ○
○			造園管理	施工を行う上での必要経費の積算方法や、病害虫防除を含めた施工後の庭園の管理について学習し、実際に管理実習も行う。	1後 2通	60 180	2 6	△ △		○ ○	○ ○			○ ○		○ ○
○			樹木学	樹木の名称や、特徴、見分け方などを学習する。	1通 2前	30 30	1 1	○ ○	△ △	△ △	○ ○			○ ○		○ ○
○			装飾技術	寄せ植えなどの植物を使用した装飾技術について学習する。	1後	30	1	△		○	○	△		○		○
○			造園設計	図面作成を行いながら、設計について学習する。	2前	60	2	△	△	○	○	△		○		○
○			造園材料	石や砂、竹、芝など造園に必要な材料の知識とそれらの扱いについて学習する。	2後	60	2	△		○	○			○		○
○			環境緑化	都市緑化や生態系など造園に関わる環境や緑化技術について実習や調査を交えながら学習する。	2通	45	1.5	△		○	○	△		○		○
○			フィールドワーク	実際に校外での観察を行い、自然環境での植生や生態系について学習する。	2通	45	1.5	△	△	○		○		○		○
○			測量	平板測量やトランシットについて学習する。	2前	60	2	△	△	○	○			○		○
○			課題学習	造園に関連したイベント、見学場所やそれぞれの進路に応じたテーマを設定し、調査、研究しまとめる。	1後 2通	30 120	1 4	△ △	○ ○		○ ○			○ ○		○ ○
○			インターンシップ	園芸業界での現場体験を行う。	1後 2通	60 60	2 2			○ ○		○ ○		○ ○		○ ○
○			校外研修	海外研修や校外での研修を行う。	2通	60	2			○		○		○		○
○			管理実習	夏季休業中などに校内の植物の管理作業を行う。	1通 2通	90 45	3 1.5			○ ○	○ ○			○ ○		○ ○
○			校内行事	文化祭などの校内行事への取り組みを通じて、計画から完成までの一連の流れを習得する。	1通 2通	120 120	4 4			○ ○	○ ○			○ ○		○ ○
	○		選択	希望に応じて生け花、盆栽、野菜などから選択する。	1後 2後	30 30	1 1	△ △		○ ○	○ ○			○ ○		△ △
	○		資格取得	園芸装飾技能士、造園技能士、フラワー装飾技能士、商品装飾展示技能士など、希望する資格に応じ選択し、資格試験を受験する上で必要な知識、技術を習得する。	1通 2通	120 120	4 4	△ △	△ △	○ ○	○ ○			○ ○		○ ○
合計						2565	85.5									
内、実務経験のある教員による授業科目の時間数、単位数 (但し、授業科目名『選択』『資格取得』を除く)						1725	57.5									

卒業要件及び履修方法	授業期間等
各学期毎に履修した科目について定期試験を実施する。定期試験において合格すると単位認定される。必修科目は全て、選択必修科目は年次ごとに所定の単位時間以上認定され、1年次では1,290単位時間以上、2年次では1,275単位時間以上 (2年間で2,565単位時間以上) 認定されることが卒業要件となる。	1学年の学期区分 2期
	1学期の授業期間 15週